

令和８年 第３回皆野町議会定例会 開会挨拶

おはようございます。開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、全国各地で地震や大雨による災害が相次ぐ中、被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

本町におきましては、先日、三沢地区で住民参加型の防災訓練を実施いたしました。災害はいつ起こるかわかりません。町として引き続き防災・減災に取り組むとともに、町民の皆様にも、日頃からの備えを改めてお願い申し上げます。

さて、本日、令和８年第３回皆野町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位のご出席を賜り、ここに開会できますことを心より御礼申し上げます。あわせて、日頃より町政の推進にご尽力を賜っておりますことに、改めて感謝申し上げます。

まず、秩父地域１市４町が連携して取り組んだ事項についてご報告いたします。

８月２４日、国土交通省を訪問し、金子恭之国土交通大臣に、「首都東京を支える荒川流域の連携と流域治水について」と題して、荒川最上流に位置する秩父地域の取組について説明してまいりました。

秩父地域が果たす役割や、これまで１市４町で築いてきた広域連携を、今後の流域治水や地域づくりにも生かしていく考えをお伝えし、金子大臣からも、前向きな受け止めにいただきました。

今後、経済、環境、防災など、さまざまな分野における課題の解決に向け、流域での連携を深めてまいります。

続いて、6月定例会以降の町の取組についてご報告いたします。

6月、健康マージャン「平和倶楽部」が長生荘で始動しました。「賭けない、飲まない、吸わない」を合言葉に、健康づくりや仲間づくり、生きがいづくりにつなげるマージャン教室です。経験の有無にかかわらず楽しむことができます。12月には、明治安田のご協力も得て、初心者向けの健康マージャン教室を予定しております。

7月には、Hertive ヤオ秩父店との連携による「女性のためのフィットネス教室」を開催しました。女性の体は、年齢やライフステージによって大きく変化します。こうした変化を「努力が足りないせい」と思い込み、一人で抱え込んでしまう。こうした「隠れた我慢」を合計すると、日本全体で年間3.4兆円もの損失になると試算されています。これからも皆野町では、女性がいきいきと過ごし、活躍できるよう取り組んでまいります。

8月は、第58回秩父音頭まつりを盛大に開催することができました。流し踊りコンクールにご参加いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、そして運営に携わっていただいたすべての皆様に、心から感謝申し上げます。今後も、秩父音頭まつりをより多くの方に楽しんでもいただけるよう取り組んでまいります。

9月からは、新しい学校給食センターで作った給食を、子どもたちに届け始めました。子どもたちからも、「ご飯は粒がしっかりしていておいしくなった」「お代わりをするときまで温かいのでうれしい」「フライの衣がサクッとしておいしかった」など、うれしい声が届いています。安全でおいしい給食の提供はもちろん、食物アレルギーへの対応を進めるとともに、「シェフ給食」など、食育にも力を入れてまいります。

また、新たに地域の情報掲示板サイト「みなのわ」を立ち上げました。町内では、町だけでなく、商工会や観光協会、行政区、町民、民間事業者など、さまざまな主体によってイベントや行事が行われています。

これまで、それぞれに発信されていたこうした情報を一か所に集め、「ここを見れば、皆野で何があるかわかる」、そんな場所を目指してスタートしたものです。気軽に情報を発信していただき、見た方が、新たな活動やイベントに参加するきっかけとなるよう、「みなのわ」を育ててまいりたいと考えております。

本定例会の町長提出議案は、付議事件一覧表のとおり、１２議案でございます。

なお、認定第１号から第４号までの各会計の決算書及び付属書類につきましては、吉橋富造代表監査委員、常山知子監査委員から、関係法令に準拠して作成され、正確であり、執行も適切なものと認められるとの審査意見をいただいております。

ご審議を賜り、可決、承認いただきますようお願い申し上げ、挨拶といたします。